

年 組 名前：

保育士夫婦が保育所開設

甲府市などで保育士として20年以上のキャリアを重ねた中沢亨さん(45)、貴子さん(46)夫婦が11月、中央市下河東に、0～2歳児対象の小規模認可保育所「ミモザ保育園」を開設した。学区内に保育施設がない場所で、2人は「未満児の保育ニーズに対応し、子どもたち一人一人に寄り添い、笑顔の絶えない園にしたい」と意気込む。

〈桑原久美子〉

玉穂南小の北東側に隣接する閑静な住宅街の一角。民家を改修した園舎に、小さな子どもたちの笑い声が響く。砂場やテラスは手作りだ。園長を務める亨さんは「大家族のような温かい雰囲気の中で、個々の子どもたちと向き合いたい」と話す。

中沢さん夫婦は、保育士としてキャリアを重ねる中で、未満児(0～2歳児)の保育ニーズの増加に対応し切れていない業界の現状や、「理想の保育を実現したい」との思いから独立を決意。県内のさま

中央 ニーズに対応、寄り添う子育てを

ざまな自治体を巡る中で、中央市が昨年度職員不足で公立保育所での0歳児受け入れを取りやめていたことを知り、開設を決めた。近くに学校や公園、田畑があり、自然豊かな環境が残っている立地も決め手になった。

ただ、開設場所は開発に制限のある「市街化調整区域」。市や県などに掛け合い、交渉を重ねて開園にこぎつけた。「一つ一つ課題をクリアして園づくりへの思いも強くなった」と振り返る。

園の名前は、貴子さんの好きな「ミモザの花」から。「愛、思いやり」といった花言葉があり、春先に明るく黄色の花を咲かせ「幸せの花」とも呼ばれる。みんなを幸せにするという思いを込めた「いい、シンボルツリー」として園庭に植えた。

園は0～2歳児対象で定員19人(本年度は12人)。保育時間は午前7時半～午後7時。現在は保育士7人で園児9人を受け入れている。2人は「第二の家庭のように子育てをお手伝いしていきたい」と話している。

(2023年11月21日付 山梨日日新聞15面)

問1

玉穂南小の近くに開園した「ミモザ保育園」の、入園できる対象の年齢を教えてください。

.....

問2

中沢さん夫婦が、この場所で保育園を始めるきっかけになったのは、何を思ったからですか。

.....

問3

「ミモザ保育園」のミモザは、花の名前です。ミモザの花言葉を教えてください。

.....